

2023年11月12日 奥山界山

L 谷内、SL 岩田、辻、福田、村中、児玉、森田、小嶋、有賀(記録)

今回の山行は紅葉山行と新入会員森田さんの歓迎山行を兼ねて行われました。奥三界山は長野県と岐阜県にまたがる山で阿寺山系に属し「日本三百名山」・「岐阜百山」のほか「信州百名山」でもあるらしい。計画段階で11日または12日の何れか天候状態を見てという事でしたが10日に結構な降雨の予報があり、足元を考慮して12日の実施となりました。地元を車2台で早朝4時に出て2時間ほどでスタート地点の夕森公園に到着しました。

今日まで「紅葉祭り」が開催されている旨の看板があり、公園のグラウンドに白線を引いて臨時の駐車場になっていましたが、我々の他は2台が駐車しているだけでした。駐車場のすぐ上の林道のゲートを抜けて山歩きの開始です。しばらくは林道歩きが続きますが、途中に滝が幾つかあり楽しませてくれました。割と大きめの滝がある脇に東屋が建てられ、「紅葉祭り」目当てで来た人たちは林道を散策し、ここで折り返すものと思われそうですが、残念ながら肝心の紅葉は先週がピークだったようで、祭りと同じく最終日っぽかったです。

林道から一旦登山道に入り途中沢を渡るところで古い吊り橋が架けられていましたが、通行禁止であったため迂回して歩きで渡りましたが、前々日の雨の影響で増水しており、ルート探しにちょっと手間取りました。「山行が昨日であればもっと大変だっただろうな、今日で正解」と思ったものでした。杉林の根っこの登山道からまた林道に戻って歩いて行くと、前方に大きな滝や笹原のきれいな尾根が見えてきました。滝の手前でまた登山道に入りますが、林道と交互に歩く感じで道中は結構長く感じました。ようやく林道が終点となりましたが、そこからの登山道は狭く荒れた道が続き、斜面の崩落も何ヶ所もありました。

そこを抜けると今度は瓦礫の沢伝いに結構な距離を登りました。その後また林の中に入りましたが足元が結構ぬかるんでおり、渡してある丸太の上をおっかなびっくり歩いて進みました。途中丸太を行かず冒険をした一人が、ぬかるみを一気に渡ろうとしたところ膝くらいまで泥沼にはまり思わず「あ〜っ」、・・・ドロドロになってしまいました。見た目ではそんなに深いようには見えなかったのですが・・・。皆さん、見た目にだまされないように気を付けましょう。

「あと500m、10分」の看板に元気ももらって進みましたが、看板に偽りあり。山でそんなに早く歩けるわけもなく、15分以上掛かってようやく山頂の展望台に到着しました。ところが驚いたことに展望台ではクマが待ち構えていました（実は木彫りのクマでした）。クマと一緒に集合写真を撮ってそこで昼食にしました。本来なら展望台から恵那山や南木曾岳、御嶽山といったところがよく見えるだろうと思いますが、あいにくガスっていてほとんど何も見えませんでした。途中の開けたところで恵那山と南木曾岳のすそ野の方だけ見る事が出来た（山名アプリで確認）のがせめてもの救いか。なので、長居は無用。そそくさと下山の途に就きました。

サクサクと下り東屋まで来ると、紅葉祭り目当てのハイカーが結構登ってきており、朝の様子とは随分ちがって賑わっていました。祭りの屋台がまだやっていることを期待して下っていくとキャンプ場周辺で屋台がいくつも営業しており、私はフランクフルト、若手二人はモツ焼きと豚バラ焼きをシェアして頬張りご満悦。今回の山行は何が良かったかってこれが一番だったかな、なんちゃって。紅葉は少し残念でしたが、奥三界山はあまり賑わう山という感じではないですが、ちょっと癖のあるそれなりに面白い山だったかなという印象を受けました。

【コースタイム】 天候；薄曇り

AM6：10 夕森駐車場出発—8：10 小休止—9：25 小休止—11：05 奥三界山山頂—11：30 下山

—12 : 50 小休止—13 : 50 小休止—14 : 50 林道—15 : 25 夕森公園駐車場着